



3学年だより

令和5年6月26日(月)
西東京市立柳沢中学校
第3学年 No.12

期末テスト！

気持ちをきっぱり切り換える

修学旅行、運動会を終えて、各クラスの感想文を読むと、今までの校外学習や運動会の感想文とは一味違ったものが多いように思います。それは対象の見方、感じ方が深い物でした。これは、一人ひとりが事前学習に頑張ったり、短い時間で集中して各競技の練習に取り組んだりした成果だと思えます。

さて、今度は期末テストです。気持ちをきっぱり切り換えて、教科学習に全力投球しましょう。中学一年の中間テストから始めて、11回の定期テストを経験してきました。もう、そのテスト対策は手のうちに入っているはず。今までの成功と失敗の例を思いおこし、それを今回のテストに生かしましょう。そこで、気になったことを二つあげてみます。

①授業を頭脳と心を十分に使って受けていますか。皆さんは、ノートに書くことや練習問題に取り組むことはきちりできています。しかし、先生の質問に対する意思表示はできていますか。分かる分からないの意志表示はできていますか。一人一人聞くと、分かっている人も多いです。わかっていることは、発信していきましょう。教室は間違ってもいいところです。もっとチャレンジしていきましょう。

②暑さのせい、夜遅くまで勉強しているせいで授業中姿勢が悪くなり、面倒くさそうにしている人や首だけ下げて一見教科書に集中する姿勢のまま睡眠学習に入るベテランもいてすごいです。

自分の中にあてはまることがあったら反省していきましょう。



生徒作文 運動会



A組 Y R 「最後の運動会」

中学校生活最後の運動会でした。僕にとっては、今までになく本気になれたと思います。

まず、最後の運動会ということもあり、結果を大事にしたかったです。そして、自分がどれだけ思う存分にできたかということです。練習やり取りまで、全力を出し取り組めたのでとても良かったです。学年種目では、毎回1位で好調でした。このままの調子で本番も勝ると当たり前のように思っていました。ですが、そうはなりません。午前の部で行われた「大縄跳び」。この種目で、B組に負けてしまいました。悔しいという気持ちが強くありました。でも、「まだ負けていない。この後勝てばいいんだろう。」と心の中で思っていました。みんなの雰囲気も下がってなくて、次につなげようとしている明るい雰囲気でした。

迎えた全員リレーでは、僕はアンカーを任されていました。始まる直前まで、とても緊張していました。ですが、リレー本番では、みんなが必死につないでくれて、差が結構ありました。そのおかげで、自分のペースで落ち着いて走ることができ、無事1位を取ることができました。この後の選抜種目でも、クラスの人たちが頑張ってくれて、1位になりました。これらの展開は、まるでアニメの様でした。最後の運動会でこんなにも喜べたのがとても嬉しく思います。

僕は、3年間の運動会で学べたことが多くあります。負けた時の「悔しさ」「友情」や「団結力」という言葉を身をもって実感しました。そういう意味で、運動会という行事は、無くてはならない行事だと思います。この先の学校生活でも、運動会のことを生かし、何事にも全力を尽くしていきたいです。

